

病院の概要

- 病床数 723床
- 医師数（研修医を除く） 258名（うち指導医数 108名）
- 研修医数 1年目 17名 2年目 17名
- 研修医の主な出身大学 獨協医科大学・岩手医科大学・川崎医科大学・
埼玉医科大学・帝京大学・東海大学・鳥取大学・
福井大学・福島県立医科大学
- 診療科 糖尿病内分泌・血液内科 呼吸器・アレルギー内科 消化器内科
循環器内科 腎臓内科 神経内科 総合診療科 小児科
こころの診療科 皮膚科 放射線科 外科 整形外科
心臓血管外科・呼吸器外科 小児外科 産科婦人科 眼科
耳鼻咽喉科 脳神経外科 泌尿器科 形成外科 麻酔科
救急医療科（救命救急センター） 乳腺センター 病理診断科 臨床検査部
- 1日平均外来患者数 1676.2名 ● 1日平均入院患者数 676.4名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉DMAT指定病院）、
地域がん診療連携拠点病院



研修プログラムの特色

- (1) 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
- (2) 必修科目である内科6か月、救急部門3か月、地域医療1か月に加え、選択必修科目である外科1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産科婦人科1か月、精神科1か月を履修し、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間8か月では、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、将来、小児科医あるいは産科婦人科医になることを希望する研修医のために、それぞれに特化したプログラムも設けています。
- (3) 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- (4) 臨床研究の基礎トレーニングができます。
- (5) 医師としてのキャリア構築につながります。



プログラム 例 一般プログラム（募集定員46人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	内 科						救急部門			外 科	麻酔科		
2年目▶	希望履修選択科目									小児科	産科婦人科	精神科	地域医療

必修科目（厚生労働省指定）：内科6か月、地域医療1か月、救急部門3か月

必修科目（当院指定）：外科・小児科・産科婦人科・精神科各1か月、麻酔科2か月

希望履修科目8か月：当院及び獨協医科大学病院の標榜する全ての科を選択可能

その他 小児科プログラム（募集定員2人） 産科婦人科プログラム（募集定員2人）

研修医の処遇

- 給 与▶40万円／月（当直4回分の手当てを含めた場合）
 諸手当▶当直手当
 保 険▶日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険／公的年金）、労災保険、雇用保険、
 医師賠償責任保険（施設及び個人）加入
 勤務時間▶獨協医科大学越谷病院就業規則による。
 当 直▶あり（4回程度／月）
 休診日▶日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日、年末年始
 休 暇▶第1土曜日（研修医のみ）、夏期休暇5日間／年 他
 宿 舎▶あり（有料）
 その他▶学会、研究会への参加費用支給・健康診断年2回・採用時健康診断・各種予防接種 他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 獨協医科大学病院
- ・ 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・ 越谷市立病院
- ・ 春日部厚生病院
- ・ 越谷市夜間急患診療所
- ・ 越谷ハートフルホスピタル
- ・ 東埼玉総合病院
- ・ 北辰病院

当院のキーワード

◎研修に適した環境◎

当院は2つの駅から徒歩3分と交通アクセスがよく、県内外から多くの患者さまがいらっしゃいます。大学病院でありながら市中病院の役割も担い、最先端医療から一般的疾患まで幅広い症例を経験できます。初期研修プログラムも、各医局に入ってからでは経験できない、多くのことを学んでいただけるよう工夫しています。現在、200床の増床を予定して工事が進められており（平成30年完成予定）、将来ますますの発展も期待できます。

研修医には他大学出身者も多く、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、助け合い、切磋琢磨しています。また、ほとんどの研修医はオン・オフの切り替えがうまくできており、のびのびと研修しています。

◎初期臨床研修修了後の進路◎

初期研修後も、毎年9割以上が当院での後期研修を選択しています。

また、当院では大学院医学研究科の専攻分野を開設しており、希望者は社会人大学院制度を利用して、勤務しながら大学院生として研究を行い、学位（医学博士）の取得も可能です。



研修責任者から

当院は埼玉県東部地区に位置し、千葉県西部地区を併せて約180万人の基幹病院として地域医療の重要な役割を果たしております。現在723床ですが、平成30年には総合周産期母子医療センターの設置と救急医療の充実等の為に、200床を増床し、923床としてリニューアル致します。リニューアル後には100人の研修医専用のフロアを確保予定です。



臨床研修センター長
上田 善彦

当院では、研修医の皆さんはもとより、各診療科の指導医の先生方、プログラム責任者の先生方からの提言をいただきながら毎年システムの改良、進化に取り組んでおります。研修医向けのカンファレンスもほぼ毎週実施されており、臨床各科の実践的な重要ポイントをわかりやすく解説していただいています。また、他大学の卒業生も多く、先生方との交流会などで研修医の先生方の問題点や疑問点の解決に努めております。

是非、あなたも獨協医科大学越谷病院で卒後研修を行ってみませんか。

先輩研修医から

私が獨協医科大学越谷病院で研修する中で感じた良い点をいくつか上げると、まず、大学病院ならではの専門性の高い疾患からcommon diseaseまで、幅広い症例を経験できることです。症例数も研修医の数に比べ十分にあるので、希望すれば診たい患者さんを指導医の先生と一緒に診ることができます。



研修医1年目
増永 葉

次に、大学病院であるため指導体制が整っており、ローテーション中の診療科での講義や勉強会、ほぼ毎週ある研修医向けの勉強会に自由に参加できます。手技も、先生に見守られながら多く経験でき、指導を受けられます。

さらに、研修医は獨協出身者と他大出身者が約半分ずつおり、出身大学に関係なく楽しく研修生活を送っています。私も獨協出身ではありませんが、日々楽しく過ごしています。

他にも立地が良かったり、選択できる科が多かったり、お給料が良かったりなど良い所はたくさんありますが、説明しきれないのでぜひ一度見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保有したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

（女性医師支援センターサイト：<http://www.dokkyomed.ac.jp/jyoseishi-k/index.html>）



連絡先

獨協医科大学越谷病院

臨床研修センター 松島 稔

〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50

TEL 048-965-7842(直通) FAX 048-965-9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL <http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>

アクセス
・JR武蔵野線 南越谷駅下車徒歩3分
・東武スカイツリーライン 新越谷駅下車徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学のお申込み手順

- 1) 左記URLよりサイトへアクセス
- 2) 専用の用紙をダウンロード
- 3) メール又はFAXでお申込み

※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。

●Facebookページ：

<https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu/>